

資料配布の場所

1. 国土交通記者会 2. 国土交通省建設専門紙記者会 3. 国土交通省交通運輸記者会 4. 筑波研究学園都市記者会 5. 環境省記者クラブ 6. 環境記者会 7. 文部科学記者会 8. 科学記者会 9. 農政クラブ 10. 農林記者会 11. 農業技術クラブ 12. 林政記者クラブ 13. 水産庁記者クラブ 14. 経済産業記者会 15. 経済産業省新聞記者会ペンクラブ 16. 気象庁記者クラブ 17. 神奈川県庁記者クラブ

平成 29 年 10 月 10 日同時配布

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release



平成 29 年 10 月 10 日  
国土技術政策総合研究所

## 第 15 回環境研究シンポジウムの開催について（お知らせ） ー持続可能な生産と消費～資源循環型社会の構築をめざしてー

環境研究に携わる国の施設等機関、国立研究開発法人及び国立大学法人の研究機関から構成される環境研究機関連絡会は、平成 29 年 11 月 22 日（水）、一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）において、第 15 回環境研究シンポジウムを開催し、各研究機関における環境研究の成果を広く国民にお知らせします。

今回のシンポジウムでは、『持続可能な生産と消費～資源循環型社会の構築をめざして』をテーマとして、13 件の講演を行います。また、約 100 件のポスター発表によって、各研究機関における環境研究の最新の成果をお伝えします。

1. 日 時：平成 29 年 11 月 22 日（水） 12：00 ～ 18：00
2. 場 所：一橋大学一橋講堂(学術総合センター内)  
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 2 号  
TEL：03-4212-3900
3. プログラム：詳細は別紙参照
4. 参加費：無料
5. 参加登録：参加ご希望の方は、下記のウェブページから登録をお願いします。  
<https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/>
6. 環境研究機関連絡会とは

今日発生している様々な環境問題を解決するためには、各専門領域にとどまることなく、これらを含めた総合的視点から、各専門分野の研究を推進する必要があります。

また、環境研究に関する多様なニーズに応え、効果的、効率的な研究を推進していくため、新たな情報交換の場を設け、より一層、連携・協力を緊密にしていこうことが不可欠となっています。

そこで、環境研究に携わる国の施設等機関、国立研究開発法人及び国立大学法人の研究機関が情報交換し、環境研究の連携を緊密にするため、「環境研究機関連絡会」が平成 13 年に設置されました。

連絡会では、

- (1) 環境研究の推進状況の紹介と相互理解
- (2) 環境研究の主要成果の紹介
- (3) 環境研究の協力・連携・連絡

などを行っています。

7. 環境研究機関連絡会の参加機関（平成 29 年 10 月現在）

国立研究開発法人防災科学技術研究所  
国立研究開発法人物質・材料研究機構  
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
国立研究開発法人森林研究・整備機構  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
国立研究開発法人産業技術総合研究所  
国土交通省気象庁気象研究所  
国土交通省国土技術政策総合研究所  
国立研究開発法人建築研究所  
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所  
国立研究開発法人土木研究所  
国立研究開発法人国立環境研究所  
国立大学法人筑波大学

8. 取材等：取材は、公開で行います。発表会当日に取材を希望される場合は、「5. 参加登録」のウェブページから登録をお願いします。

お問合せ先：

【本プレスリリースについて】

- ・国土交通省国土技術政策総合研究所 企画部 企画課 担当：中村  
〒305-0804 茨城県つくば市旭 1 番地  
TEL：029-864-2674 FAX：045-227-2704

【シンポジウムの詳細について】

環境研究機関連絡会 事務局

- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所  
エネルギー・環境領域 研究戦略部 研究企画室 担当：林  
〒305-8560 茨城県つくば梅園 1-1-1 つくば中央事業所  
TEL：029-862-6033 FAX：029-862-6048

9. 会場周辺地図：学術総合センター（神保町駅から徒歩 3 分、竹橋駅から徒歩 4 分）



## プログラム

### 【講演会】

- 13：15 開会挨拶 国立研究開発法人産業技術総合研究所 理事／エネルギー・環境領域長  
小林 哲彦
- 13：20 講演1 持続的な金属資源循環の構築を目指して（15分）  
講演者：国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域  
環境管理研究部門 総括研究主幹 大木 達也
- 13：35 講演2 超耐熱合金の直接完全リサイクル（15分）  
講演者：国立研究開発法人物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 超合金グループ  
主幹研究員 川岸 京子
- 13：50 講演3 日本人の窒素フットプリント～健全な食生活と環境保全の密接な関係～（15分）  
講演者：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
農業環境変動研究センター 物質循環研究領域 水質影響評価ユニット長  
江口 定夫
- 14：05 講演4 下水道による資源・エネルギーの創出（15分）  
講演者：国土交通省国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道研究部長  
井上 茂治
- 14：20 講演5 下水道施設を活用した植物系バイオマスの有効利用方法の開発（15分）  
講演者：国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター  
材料資源研究グループ 上席研究員 重村 浩之
- 14：35 講演6 複数環境域負荷の同時制御を考慮した流域管理政策（15分）  
講演者：国立大学法人筑波大学 生命環境系 准教授 水野谷 剛
- 14：50 講演7 水産物の持続的利用に向けたアウトリーチ活動～SH“U”Nプロジェクトについて～（15分）  
講演者：国立研究開発法人水産研究・教育機構 審議役 大関 芳沖
- （休憩 15分）
- 15：20 講演8 海面処分場の高度土地利用に向けた技術開発～底面遮水層を貫通する杭の施工方法の検討～（15分）  
講演者：国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所  
地盤研究領域 基礎工研究グループ長 水谷 崇亮

15 : 35 講演 9 CLT で森林資源の利活用をはかる (15 分)

講演者 : 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 複合材料研究領域  
積層接着研究室長 平松 靖

15 : 50 講演 10 中高層木造建築物の可能性 (15 分)

講演者 : 国立研究開発法人建築研究所 材料研究グループ 上席研究員 槌本 敬大

16 : 05 講演 11 再生可能エネルギー分野への気象予測の利用 (15 分)

講演者 : 国土交通省気象庁気象研究所 予報研究部 第一研究室長 山田 芳則

16 : 20 講演 12 防災と環境を両立させる現地適応型蛇籠擁壁の開発 (15 分)

講演者 : 国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震減災実験研究部門 主幹研究員  
中澤 博志

16 : 35 講演 13 持続可能な生産と消費への転換 (15 分)

講演者 : 国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター  
循環型社会システム研究室長 田崎 智宏

16 : 50 閉会挨拶 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 理事長  
井邊 時雄

#### 【ポスター発表】

- 展示時間 12 : 00 ~ 18 : 00
- 発表時間 12 : 00 ~ 13 : 10、17 : 00 ~ 18 : 00

### (参考) 国総研からの発表内容

#### 【講演】

- ・ 下水道による資源・エネルギーの創出

下水道研究部長 井上 茂治

#### 【ポスター発表】

- ・ 中小規模処理場における下水汚泥の肥料化・燃料化の推進  
下水道研究部 下水処理研究室 主任研究官 太田太一
- ・ 自然由来重金属等含有土の活用の現状と技術的課題  
道路交通研究部 道路環境研究室 主任研究官 大城温
- ・ 先進的な建築物のエネルギー消費性能評価技術の開発  
住宅研究部 建築環境研究室 主任研究官 宮田征門
- ・ 新しい木質材料を活用した混構造建築物の設計・施工技術の開発  
建築研究部 建築災害対策研究官 穴村範夫
- ・ 河川管理による外来植物の分布拡大抑制に関する調査  
社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室 主任研究官 山岸裕
- ・ 生息場ネットワークの定量評価手法の開発—生態系サービスの豊かなシースケープのデザイナー—  
沿岸海洋・防災研究部 海洋環境研究室 秋山吉寛 黒岩寛 岡田知也
- ・ 津波防災地域づくりへの自然・地域インフラの活用  
河川研究部 海岸研究室 主任研究官 原野崇
- ・ 朝型観光の推進による観光地の混雑緩和に関する研究  
都市研究部 都市施設研究室 主任研究官 吉田純土